

2018年1月末 配本予定

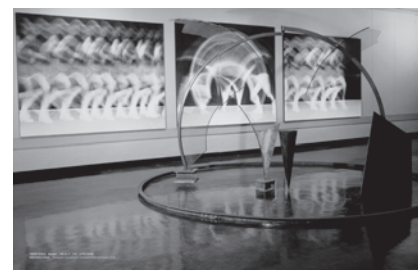
中山正樹作品集

Masaki Nakayama BODY SCALE

発行:ユミコチバアソシエイツ

artist 中山正樹
text グラスタ・チハーコヴァー(アートディレクター、美術評論家)
 森 啓輔(ヴァンジ彫刻庭園美術館学芸員)
 木村理恵子(栃木県立美術館学芸員)
 高木 修(美術家)
 戸谷成雄(彫刻家)
 井上幸治(美術批評家)
design 西中 賢

定価:本体2,500円+税/A4変型判(270×210mm)・188頁
 2018年1月31日発行/英文併記
 ISBN 978-4-908338-10-6 C0071 ¥2500E



《BODY SCALE kinesis》写真、鉄、木 1986

一貫した‘Body Scale’への探究。1970年代の美術の解体から、自らの身体を通じた感性を信じきり、彫刻、写真、絵画というジャンルを超えた地点に再構築を試み続けた、47年間の軌跡。

70年代の日本では、このような〈その場 (insite)〉の体験に基づいて独自のビジュアル表現によって中継ぎされた行為芸術のタイプは「こと派」と呼ばれていました。これは、相反する物体の物理的特性に基づく(中略)空間的インスタレーションの「もの派」(新物質)に対向していた動向です。(中略)誰もが通常体験する様々な状況のなかでの身振りの知覚を、美学として伝えてくれるものです。

——— グラスタ・チハーコヴァー (「身体測定の芸術」の本文より)

彫刻を自己の表現手段の原点とし、作者とモデルの関係を再考する目的で開始された一連の写真作品が、その頑強で緊張感に満ちた自身の「BODY (身体)」を写し出していたことを思い返してみるならば、それらは写真の再現性ゆえに「鏡像」というべきであり、「BODY SCALE」とはまさしく中山を指し示す指標に違いない。

——— 森啓輔 (「犬と鎖」の本文より)

中山正樹 (なかやま・まさき) 略歴:

1945年山梨県甲府生まれ。2017年 Japanese conceptual photography from the 70's (ギャラリー・クリストフェ・ガイヤール、ギャラリー1900-2000 / パリ)、2010年個展(人形町ヴィジョンズ/東京)、2009年第1回所沢ビエンナーレ美術展「引込線」(西武鉄道旧車両工場/埼玉)、2007年個展(トキ・アートスペース/東京)、2004年「VISION」展(ギャラリー・クリティック/チェコ)、個展(東京画廊/東京)など。

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX : 03-3721-1922 TEL : 03-6715-6121

http://tsubamebook.com
 mail : info@tsubamebook.com

貴社名(番線印) 担当: 様	http://www.ycassociates.co.jp/ Yumiko Chiba Associates 返品条件付き注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人	
	冊	新刊 中山正樹作品集 Masaki Nakayama BODY SCALE 2,500円+税 A4変型判(270×210mm) 188頁 ISBN978-4-908338-10-6